



平成 19 年 11 月 14 日

各 位

会社名 タカラバイオ株式会社  
(コード番号 4974 東証マザーズ)  
本社所在地 滋賀県大津市瀬田三丁目4番1号  
代表者 代表取締役社長 加藤 郁之進  
問合せ先 専務取締役 木村 瞳  
TEL (077)543-7212  
URL <http://www.takara-bio.co.jp/>  
親会社等の名称 宝ホールディングス株式会社  
代表者 代表取締役社長 大宮 久  
(コード番号 2531 東証、大証第1部)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の連結及び単体業績予想（平成 19 年 5 月 15 日公表、その後単体のみ平成 19 年 5 月 30 日に修正）を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 平成 20 年 3 月期 業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

##### (1) 連結

(百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 21,000	百万円 60	百万円 100	百万円 30
今回修正予想(B)	20,300	200	400	30
増減額(B-A)	700	260	300	-
増減率(%)	3.3	-	300.0	-
前期実績(平成 19 年 3 月期)	20,982	215	65	320

##### (2) 単体

(百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 13,700	百万円 453	百万円 138	百万円 826
今回修正予想(B)	13,030	375	0	850
増減額(B-A)	670	78	138	23
増減率(%)	4.9	-	-	2.9
前期実績(平成 19 年 3 月期)	14,524	297	149	290

(注) 業績予想につきましては、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。今後発生する状況の変化等によっては、実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

## 2. 修正の理由

通期の見通しにつきましては、売上高が、遺伝子医療分野およびキノコ関連製品で当初計画（平成19年5月15日公表）を上回るもの、理化学機器および健康食品の減少の影響が大きく、合計では当初計画に対して未達になると見込んであります。利益面では、売上高の未達に伴い売上総利益も未達となります。販売費及び一般管理費の削減がそれ以上に見込まれることから、営業利益・経常利益はいずれも当初計画を上回ると予想しております。

また、当期純利益につきましては、当中間期に計画外の特別損失（係争和解費用）が発生いたしましたが、特別利益（投資有価証券売却益、持分変動利益）の計上および経常利益の増加（当初計画比）により、その影響を吸収できる見込みとなりましたので、当初計画を達成できるものと予想しております。

以上のことから、当期の通期業績予想につきましては、売上高、営業利益および経常利益を修正し、当期純利益は当初計画どおり据え置くこといたします。

以 上

---

### 当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。